

刊夕 日六月四

常新日新聞

定価一圓五角 一ヶ月金五圓 郵費五割
 廣告料五圓以上 二割 五圓以上 三割
 日曜祭日の翌日休刊
 発行所 常新日新聞社 電話六三〇番
 印刷所 常新日新聞社 印刷機式分社

眞實と虚偽 [五]

中村 哲 彌

兒童が上述の二種類の嘘に併せて、言逃れや言葉通りには眞實には違ひないがその効果に於ては虚言を擇ばない程度に白状を控へるなどして、陳述を用意周到にするといふやうなことをやり出すのは、青年期の近づく頃である。斯くの如き所爲は、兒童が既に眞とそとの人生とに對する重要性和に對する認識を學び取るには取つたが、正直の基本原則を未だ十分に學ぶには到つてゐないことを示すものである。彼れが、他人を庇ふために虚言を用ふる時は彼れの「良心」が正しさの價値のより低いものに對してより高いものを選択せしめたのであり、彼れが言葉遣に氣を配つて事實の半分しか話さないのは、白々しく虚言をいふことを避け度いがためである。彼れにとつて大いに助けとなるのは不愉快な事態に面を背向けて逃避するよりも、正面からがつちりと取組むことが、一層良いことであり正直な最善の政策(吾々は「政策」といふ言葉の暗示するやう

に利害の打算と道的價値批判とを同一視することには組みしなないけれども)なることを實認させて貰ふことである。

之れを要するに、若しも誕生の初めから、吾々が兒童を見守るならば、吾々は眞の觀念は、兒童の外部の具象世界と内部の意識過程とに對する、多種多様の經驗の裡から遅々として且つ極めて徐々に、學び取られる。

○明日の献立
 朝 味噌汁 大根
 小付 やきもの
 晝 蕎麦の煮付
 晩 手打ちうどん
 小井 牛肉時雨煮

るものなることを發見するのである。兒童の取扱に當る者は、全て眞實は徐々に達成されるものなることを實認する吾々は兒童の叙述の誤りを一々非難してはならぬ、否、寧ろ、その一々の機會を捉へて、彼れの眞に對する理解を擴めてやり眞に對する鑑識を豊かにしてやるようになすべきである。此處でも亦、他の種々な事態に於てそうであるように、吾々は兒童の罪を憎んで兒童の人を責めてはならぬ。何とな

れば、兒童の道德的發達のより大きな要因は吾々の兒童に對する信頼であつて、兒童はそれによつて正しきことを行ひ、誘惑に打ち克ち、子供臭い過失を卒業する能力が、自分にあることを感ずることが出来るのである。

吾々は徒らに結果を重大にすることをやめて、原因を追及することをせねばならぬ、そうするならば、吾々は屢々、兒童をして、虚偽の手段に訴へしめるやうな、誘惑を除去することが出来るのである。吾々は、吾々の直面すべき困難と障礙とを卒直に認め、改善や改心が奇蹟的に立地に行はれるやうなことを期待することなく、而して眞實を、それに向つて人間が努力精進すべき理想として兒童の前に、亦吾々自身の前に掲げるならば、吾々は、兒童の爲めの善き相談役、良き指導者として、彼れらを助け導くことが出来るのである。

原 醫院

平町・四町
 電話一四四番

專 門
 産 婦 人 科
 花 柳 病 科
 ◎入院隨意

井 坂 醫 院
 平町田町 電話五五九番


小 店 員 募 集
 ●頭と身體の働く人

西 村 屋 藥 局
 平二 電三

難 波
 内 科 一 般
 醫學博士 難波 睦
 看護婦募集
 平町大町新川端 電話五〇二



玉屋洋品店
 平町田町通電話六五六番



貴方の御家庭に
 本會を御利用下さい
 直に家政婦派出します
 親切 料金は極めて低廉で
 妊産婦の御家庭 お留守 居番
 御病人の付添 年寄やお子さんの付添
 炊事や 雑用
 派出多忙に付會員至急募集
 平町紺屋町二(電話二二番)
 上原家政婦會
 會主 産婆 上原通子

レストラン 平 齋 韻
 電話624

芳原院葬送の際は御丁寧なる御香奠を賜はり且つ御遠路にも拘はらず御會葬被下御芳志の段奉深謝候就ては拜趨御禮可申述の處乍失禮紙上を以て御厚禮申上度如斯御座候
 昭和十一年四月五日
 一 原 精 一
 外 親 戚 一 同

眞の自力更生は

「若人の力から」

飯野中堅農民が 産業青年結成

飯野村は昭和八年經濟更生指定村になつて以來これが達成に努力してゐるが同村中堅農民六十名は「自力更生は先づ若人の力から」と自發的に産業青年結成本六日午後一時から發會式を擧げ役員選舉を行つたが今後独自の立場から經濟更生の目的貫徹を期することになつた

局員推賞

勿來郵便局長赤津一氏外同局員星勝美、赤津作衛、澤田清吾、青天目勝男、長瀬常雄、泉局の鈴木四喜、四倉局の古河定夫の七君は去る二月四日の大雪で電信電話線の不通に際し協力して復舊に盡力したので今回仙臺通信局監督課長より推賞された

川前村長の 満期改選

永山忠二氏當選

川前村は宇佐美今次村長任期満了のため三日午後二時から村會を開き選舉の結果永山忠二永山徳一兩氏が夫々自派か推薦されたが決戦

昭和和絹の焼失で 毒液問題假中止

目標のない喧嘩は出來ず 復興を俟つて再燃か

石城郡錦村所在昭和和絹工場から流下する二硫化液が蛭田川に放流されるので附近にある民間養蠶場の蠶を變死せしめた上同河川の魚族及び同川の川口迄一帯の海中の魚族に非常に有害となつて現はれてゐるため沿

に抗議を提出して賠償金を受けてゐたが蛭田川の漁業者及び沿岸地方の水産業者は未だその被害の具體的な證據を得ないので工場側から賠償を履行せしめるには至らないが事實その毒液流下のため魚族が近海に寄りつかないことは明かであるが損害は少くないことが認められてをり縣水産係りもすておけないので状況調査中この程右人絹工場の焼失を見たため其等被害水産業者も當分賠償要求の目標を失ふ状態に陥つたので、しばらくはこの問題も休業状態に入つたし、右工場の事業再開と共に從來以上に八釜しい問題として論議されることであらう

局員推賞

勿來郵便局長赤津一氏外同局員星勝美、赤津作衛、澤田清吾、青天目勝男、長瀬常雄、泉局の鈴木四喜、四倉局の古河定夫の七君は去る二月四日の大雪で電信電話線の不通に際し協力して復舊に盡力したので今回仙臺通信局監督課長より推賞された

川前村長の 満期改選

永山忠二氏當選

川前村は宇佐美今次村長任期満了のため三日午後二時から村會を開き選舉の結果永山忠二永山徳一兩氏が夫々自派か推薦されたが決戦

昭和和絹の焼失で 毒液問題假中止

目標のない喧嘩は出來ず 復興を俟つて再燃か

石城郡錦村所在昭和和絹工場から流下する二硫化液が蛭田川に放流されるので附近にある民間養蠶場の蠶を變死せしめた上同河川の魚族及び同川の川口迄一帯の海中の魚族に非常に有害となつて現はれてゐるため沿

交換手採用試験 三十名ハス

第二次試験は七日 交換嬢も就職受難

既報十名採用に九十二名の志願者が殺倒した平郵便局電話交換手採用試験は昨日第三小學校で行はれたが平局では本六日中に採点して三十名をパスさせ更に來る七日午前九時から局樓上で第二次試験を行ひ口答試問發音テスト等を審査して最後の十名を決定する

植田養鶏組合

植田町養鶏組合は四日午後七時から五週年記念に先き立ち同町鶏卵共同處理所で評議員會を開き決算、豫算、組合規約變更、十年度産卵出荷競技會成績決定ほか數件を付議した

第三教員着任

欠員中であつた平第二小學校四年二組受持訓導は好問尋高

桶賣校に 高等科新設

助かる學童

川前村桶賣小學校では從來高等科の設置なく學童が不便を極めしゐるため多年これが設置方要望してゐたが愈々新學期から設置を見現にに至るまで小川或は小野新町方面に通學を餘儀なくされてゐた學童は非常な便利になつた譯で父兄間にも嬉ばれてゐる

平商學級擔任

平商學校の今年度學級擔任は今六日左の如く發表された (五年)組甲宮澤乙組中村 (四年)組甲新田乙組武川 (三年)組甲山下乙組室原 (二年)組甲山下乙組室原 (一年)組甲室原乙組室原

交換手採用試験 三十名ハス

第二次試験は七日 交換嬢も就職受難

既報十名採用に九十二名の志願者が殺倒した平郵便局電話交換手採用試験は昨日第三小學校で行はれたが平局では本六日中に採点して三十名をパスさせ更に來る七日午前九時から局樓上で第二次試験を行ひ口答試問發音テスト等を審査して最後の十名を決定する

驛長協議會

平驛附近各驛長の事務協議會は今日六日午後二時から平驛樓上に開き役員改選を行ふ

回春園の 規則緩和陳情

石城郡豊間村縣立回春園は

平町人事

出生

△五丁目十二 當時奉天市 藤浪町八三森三平氏長男 喜平さん
△一丁目三 松本孝太郎氏 (二八)柳町三有賀キキさん (二四)
△田町二 鈴木千代松氏

(七)茨城縣多賀郡松岡町字上手綱一七五二根本ツタさん(五九)
△正月町一 色増太郎氏 (五一) 安達郡玉井村字南町一六七小池ツルさん (四二)
△山形縣東村山郡高瀬村大字大森四七三安孫子藤一氏(二六) 材木町一一二面ウメさん(二三)

耳鼻咽喉科専門

平田町 (電話六九一番)

山内醫院

病室完備 自炊便有 醫學士山内亨吉

外科科一般

金成醫院

平田町 (電話三五八)

呼吸患救濟の王 陸海軍御用 帝國大學醫學部御用 官公立醫學專門學校御用

吸入用酸素

體溫計 (メイトル)

阿康藥局

御用命次第迅速に御届け致します 平町古鍛冶町一〇縣社ノ下 處方箋調劑所 電話 四四番 振替口座東京三〇〇番

長嶺子事件犠牲者

故 上等兵 死の凱旋

悲しみの裡に

好問で慰靈祭舉行

(既報)蘇滿國境長嶺子事件で名譽の戦死を遂げた好問村出身渾春枝隊吉田留吉上等兵の遺骨は戦友橋谷軍曹八鍬一等兵に護られて本六日午後一時五十二分平驛着涙の關係者に護られて實家に名譽の死の凱旋を飾つた尚好問村當局並に古河在郷軍人分會では今日中日に故吉田上等兵の靈を慰めるため盛大な慰靈祭を催すことになつた

日立製作所で

小名濱利用

分工場設置か

日立製作所では過般來小名濱附近に分工場を設置の計

夫婦で酒を飲み

酔つて大立廻り

妻の前額部をコップで割る

赤井村福島炭礦鮮人坑夫林武雄こと李成達(譯)は昨五日午後五時半頃自宅で内妻の八巻ツル(譯)と飲酒中酒が不足だとツルに文句を云つた揚句喧嘩になりツルの前額部へコップを投げつけ全治四週間の傷害を負はせたので平署で檢舉取調べ中

の態にあり本年寒流被害は割になく相當の暖流に乗るものと見られてゐるためまた一昨年同様豊漁を豫想されてゐる

酌婦の逃走 小名濱

町下町料理業大和屋こと會我とも方酌婦岩瀧郡須賀川町北丸生鈴木とま子(譯)は四日前借金五百圓を踏み倒して逃走植田町近在に潜伏してゐるらしいので五日植田署へ抱主から捜査方を願ひ出た

口をとじて語らぬ

前科六犯の強か者

平署で手古さる

平署渡邊温巡查部長が四日夜八時頃平町市内を密行中同町南町附近で舉動不審の三十才前後の青年を誰何したところ矢庭に逃走を企てたので直ちに追跡格闘の上逮捕本署に引致した、右は東京生れの詐欺恐喝前科六犯清水五郎(譯)と判明したが取調べに對して口を緘して語らず警員を手古さらし居り警視廳に指紋を照會したが相當の強か者で餘罪になつた

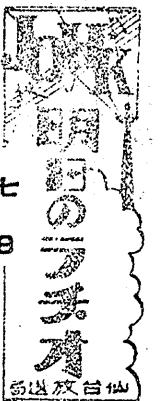
役場の大失態か

買受けた山林を

知らぬ男が伐採

東京麴町區山元町一ノ九高橋一郎氏は昭和四年湯本町品川白煉瓦會社社役の

弟山内完次氏から石城郡内郷村大字御厩字久世厚の山林四丁五反歩を立木と共に



今晚は南の風
晴薄く
明は南の風薄曇り

今晚の部

- 後六、〇〇 子供の時間 佛教聖歌 大谷女子青年會聖歌院
- 後六、二五 趣味講演「藥草雜話」富山藥專教授橋本亮
- 後七、三〇 講演「統計から見た社會生活」商學博士藤本幸太郎
- 後八、〇〇 三曲京都一青柳一川瀬里子他
- 後八、二五 落語「小言幸兵衛」春風亭柳橋
- 後八、五〇 浪花節 新町演舞場より中繼「女心常世の舞」新町藝妓連
- 後九、三〇 時報 ニュー・明日の話題 番組豫告

明日の部

- 前七、〇一 朝の修養「入法界品」湯次了榮
- 前八、〇〇 婦人の時間「女子教育に關する近頃の考へ方について」安倍能成
- 後八、〇〇 潮干祭實況 愛知縣龜崎町神前神社海岸中繼
- 後八、二〇 婦人の時間「最近世界婦人界の情勢」岡本鶴松
- 後六、〇〇 偉人物語「お釋迦様」東京放送童話研究會
- 後六、二五 講演「素盞鳴尊の御神業について」須佐雄啓(松江)
- 後七、三〇 講演「國際經濟に於けるポンド・ドル・ドランの地位」服部文四郎
- 後八、〇〇 花めぐり 歌謡劇「さくら物狂栗島すみ子他(上野公園清水堂中繼)
- 後八、三〇 新内「明烏夢泡雪」雪實の段「富士松喜久翁他
- 後八、五五 浪花節「立身出世二葉の松」春日亭清吉

肅選徹底を期し

時局政談演說會

肅選徹底を期して此程結成された選舉肅正石城同盟會では左記日割により時局政談演說會を開催することになつたが辯士は元司法大臣貴族院議員川村竹治、星一花井忠、成富信夫、八幡博堂の諸氏で一般來聽を歓迎すると

社員採用

固定給參拾圓外手當支給
二十才以上五十五才迄
希望者は履歷書持參本人來談
平町鍛冶町十八
日本商事株式平支部
擔保貸附

- 午後六時平町聚樂館
- 善光寺詣團體 平驛
は來る廿七日長野善光寺詣りと信州温泉巡りの團體四百名を募集して平驛を出發
- △醬油醸造 卅一才 尋卒
 - △女工 廿二才 尋卒
 - △採炭夫 卅八才 高卒
 - △土工夫 廿三才 高卒
 - △コック 卅才 高卒
 - △人を求める方
 - △配達兼農夫 廿才前後 月給五圓
 - △トラクタ助手 廿五才迄 日給六—七十錢 尋卒
 - △助手 十八才迄 月給五圓

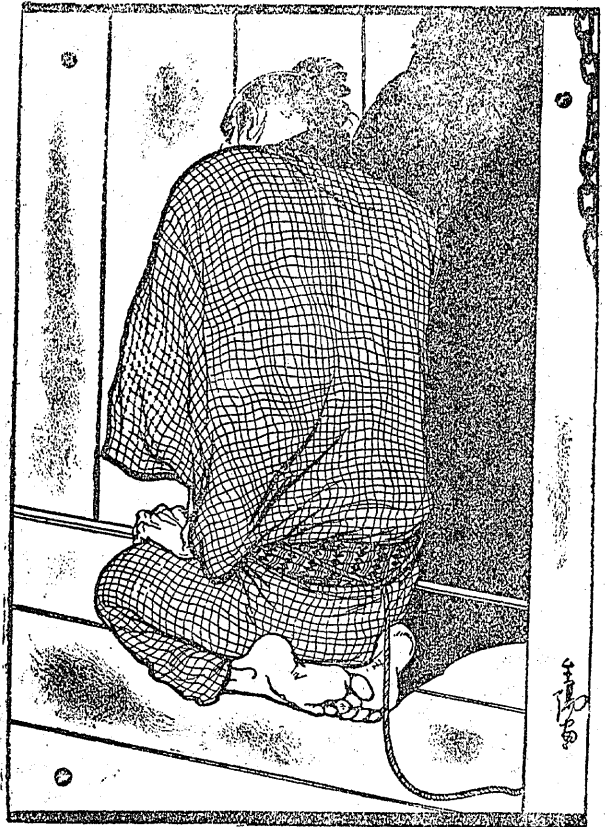
平職業紹介所報告

- △コック 廿五才迄 月給十圓 尋卒
- △配達兼農夫 廿才前後 月給五圓
- △トラクタ助手 廿五才迄 日給六—七十錢 尋卒
- △助手 十八才迄 月給五圓



徳「瓦解の設人々」
悟道軒圓玉(作)
丸尾至陽(畫)

八九 金は何處から
吉原の大門口にはかく
内の事務を取り扱ふ會所が
あつて、こゝには晝夜ぐる
わの者が交代で三四人詰め
てゐる、これは非常警衛の
ため、また町奉行部下の同
心が一人づゝは出張してゐ
る、それをくるわ係りとい
ふ、吉原は悪黨の籠だとい
ふたとへもあり悪いことを
して不正なことをして金を
取つたものはこゝで消費し
てとらいられる、それ故役
人は出張します
○「旦那文太郎を召し連れ
て参りました」
と問う引きが同心にかう
いひました、こゝにゐたは
北町奉行小出大和守の手付
西尾徳太郎、柱をうしろに
してお茶を飲んでゐたが
徳「イヤ伊太郎大きに御苦
勞、文太郎こゝへつれて來
い」
伊「旦那のお聲がかつたこ
つへ來い」
吟味所に入れた、こゝは
板の間で隅の柱に鐵の鎖が
下げてあつてその下には責
の道具を陳列してゐる、悪
黨もこれを見ればふるへ上
る、西尾徳太郎はそれに引
き据えられた文太郎を見て



文「それは何でございませ
ん、それは存じませんが出先は
たしかでございませぬ、な
民藏怪しい金ではねいな」
徳「これ余計なことをいふ
な、その出先をいへ」
文「それはさういふわけ
でございませぬ、一昨日のこと
でございませぬが、本町の
薬屋の番頭さんが晝遊びに
來まして急いで参りますと
きにわつちの駕でおくるこ
とになりそのとき骨折と酒
手をいたしまして、その金
でございまして見れば出先
は清いものでございませぬ」
徳「その番頭は何處のもの
だ」
文「へエ、邊と申すとは
ございませぬが本町の薬屋
の番頭さんに相違ございま
せん」
徳「何といふ薬屋だ」
文「それは何でございませ
ん、さういふと申してご
ざいませぬ」
徳「さんまや、珍らしい家
名だな、本町には薬屋とい
ふ薬屋はあるが」
文「へエさうでございまし
た、さういふと申してござ
いませぬ、さういふと申して
徳「嘘をつくな何も彼も民
藏が申し立てたぞかくさづ
にいへ」
文「オイ民、ためえ旦那に
谷中と根岸の一件のことを
話したか」

文「へエ、あれは兄弟分の
民でございませぬ」
徳「知つてゐるであらうな
とこで文太、われに聞くこ
とがある、提下の駕昇が今
夜山城屋で身分相應な遊び
をするその金は何處から出
た、堤から湧き出したわけ
でもなからうな」
文「本町あたりの薬屋の番
頭さんでございませぬ」
徳「妙なことを聞いたな俺
も江戸で産湯をあびたもの
とて江戸の町は大概知つて
ゐるが本町に邊といふ薬屋
は聞いたことがねえ、それ
は本町の何處にある」
民「たづねたが皮肉です」
民「馬鹿なことをいふな、
あれをいつては」
徳「だまれ、貴様に聞いて
はゐるねいぞ、これ文太郎、
今民藏のいつたことを何と
聞いた、あれをいつてしま
つたと申したぞ」
民「イヤもし旦那、そんな
ことはわつちには——」

徳「黙れ、さア文太、きれ
いに毒をはいてしまへ、使
つた金は何處から出た、い
はねえと骨と肉の間からも
のをいせせて見せるぞ」
といつたがそれを聞いて
文太郎の魂は冷たくなつた

宗正らひた

山崎合名會社
電話一〇番

店主が店員	を連れて行	か	正	正	正	平・田町
れる	食	イ	イ	イ	イ	レストサロン
堂	茶	酒	酒	酒	酒	電話三五二番

外科 一般
内科 外科
花柳病科
肛門病科
レントゲン科
物理療法科

北川外科

平町新川町二七
醫學博士 北川芳夫
醫學士 奥義弘

イツデモ入院
出來マス
電話四六四番

擴張御披露

私事永らくの間東京精養軒及丸ノ内會館に於て各國の高級料理と眞の支那料理の研究を遂げ、此程歸平しまして、デパート式食堂を開く事になりました何卒御引立の程御願し致します

金子松男

非常時日本の更正に皆様の御健康を護る最も進歩せる洋食と支那料理

三大モットー

- 味良 (自信の出来る研究の結果を齎します)
- 量多 (自ら庖丁を手にして他人に委せはす勉強振りを量に依つて現します)
- 衛生上 (加熱消毒を致し、衛生に留意し一々)

田町銀座街より一步御入りになれば、感じよい設備で御家庭を延長し、御氣分が味はれ際にも近、御便宜で御座います

◎材料は日々京濱地方より新品到着致します

出前迅速

平町田町

福壽軒

電話二一八番